



笑顔 中央小学校だより

～自ら挑戦し ともに高め合おう～ 令和7年10月

令和7年度前期学校評価の報告

本校では、年間2回、児童・保護者を対象に「教育活動」や「学校生活」などについて振り返る「学校評価」を実施しています。いただいた評価は、本年度の教育活動の改善や来年度の計画の資料として活用しています。今回は、前期の教育活動に対する評価の内容を報告します。

※数字(%)は肯定的な回答をした割合を、(A:)で表した数字は強い肯定の割合を表しています。

1 子供中心のわくわくする学校づくりに関する質問

「学校はたのしい」

児童96.5%(A:69.8%) 保護者95.3%(A:53.0%)

「学ぶことはたのしい」

児童97.1%(A:68.8%) 保護者92.9%(A:30.7%)

多くの子供が「学校がたのしい」「学ぶことがたのしい」と感じています。このことは、子供たちが安定した集団の中で、授業や行事で精一杯に力を発揮していることの証左であると考えています。一方で、「たのしい」と感じていない子供がいることも把握できました。全ての子供が「たのしい」と感じられるよう、「楽しく」「魅力的」な学校づくりを進めていきます。

2 人との間で承認欲求や所属や愛の欲求が満たされる温かな学校づくりに関する質問

「自分のことを大切に思っている」「自分の学級は安心できる」

児童94.3%(A:70.0%)

児童94.2%(A:55.5%)

「友達や先生、家族、地域の人のことを大切に思っている」

児童99.2%(A:83.6%)

「学校の先生は、安心・安全を考えてくれている」

児童98.0%(A:81.0%)

「学年や学級、グループの友達と協力している」

児童94.8%(A:62.6%)

「まごころ3活動」や「まごころみつけ」などの活動をとおして、子供たちは自尊感情や他者尊重の気持ちを高め、支持的な人間関係を築いている様子がうかがわれます。今後も「まごころ」をキーワードとした取組を継続することで「子供が中心のわくわくする楽しい学校」の基盤となる「所属と愛の欲求」が満たされた温かな人間関係づくりを進めていきます。

3 安心・安全・安定(ユニバーサルデザイン化、危機管理、コミュニティ・スクールの展開)で教育環境の整った学校づくりに関わる質問

「学校は子供の安全・安心を考えて教育活動をしている」

保護者96.9%(A:48.3%)

「学校は子供が間違っただけをしたとき、きちんと指導している」

児童96.4%(A:41.2%)

「学校のコミュニティ・スクール(CS)の活動を知っている」

保護者77.3%(A:20.4%)

「CSがあることで授業が充実している」「学校には、信頼できる先生がいる」

教職員100.0%(A:44.8%) 保護者95.3%(A:44.5%)

回答からは、子供たちが、地域の方・保護者・教職員に見守られながら、安心・安全・安定を実感していることがわかります。引き続き、全ての教育活動の基盤となる教育環境の整備を継続します。他方、CSの認知が8割に届いていないこともわかりました。今後、遠藤CSディレクターを中心にCSの周知と活動参加の呼びかけを積極的に行うことで、保護者の皆様や地域の皆様とともに学校づくりを進めます。

自由記述欄にお寄せいただいた内容

自由記述欄に子供たちの輝く姿や活躍する姿を数多くお知らせいただいたことで、子供たちにたくさんの方の勇気づけの言葉をかけることができました。保護者の皆様のお考えも詳しく知ることができましたありがとうございます。お寄せいただいた御意見は、今後の教育活動の参考資料として活用させていただきます。代表的な御意見を紹介いたします。

◇家庭学習について

- ・ドリルパークだけでなく、朝学習や宿題などでリカバリーしていただけたら幸いです。
- ・低学年のように、毎日基礎的なプリント課題を出してほしい。・もう少し宿題を出してほしい。

中央小では、家庭学習のねらいを ①自己調整力の育成 ②基礎学力の定着 ③学習習慣の確立の3点で押さえています。昨年度から始めた「家庭学習にICTを取り入れて効率化を図り、生み出された時間で自主的・応用的な学習を行う取組」を継続することで、子供の主体性や基礎学力を伸ばしていきたいと考えています。一方で、一人一人の子供のニーズに十分に寄り添えていない場合もあることがわかってきました。今後、子供の実態把握の精度を高め、その子供にとって適切な質と量の家庭学習とは何かを検討し、子供たちに提案していきたいと思えます。

◇情報発信や学習者用端末について

- ・情報が少なく分からないことが多い。・当日どんなことがあったか不明確なことがある。
- ・学校のタブレットの使い方のルールを守れない。

情報発信を紙媒体からデジタルに変更したことにより、御不便をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。デジタルであっても十分な情報が御家庭に届くよう、学校・学年・学級でやり方を工夫していきます。また、学習者用端末の使用ルールが守れない子供が少なからずいるようです。学校では、ネットや端末との付き合い方やマナーについて指導しています。今後も子供たちの実態に合わせて指導を継続します。御家庭におかれましても、ルールの作成等の御指導をお願いいたします。

また、端末の持ち帰りについても御意見をいただきました。来年度の新機種導入を視野に入れながら、持ち帰りの方法の検討を進めていきたいと考えていきます。